

今月の
スポットライト
Spotlight

「あしたの笑顔を支えあう」
会社を社員とともに



(有) 別府損害保険事務所
代表取締役
別府 昭人さん

きりしま
支部

2020年7月に同友会入会後、数多くの場面で活躍を続ける別府さん。昨年大成功に終わった宮崎青全交では副実行委員長を担いました。他にも広報戦略委員(今年度からは委員長)、フォーラム実行委員、例会報告者、etc…。今や宮崎同友会に欠かせない存在です。そして今年6月、別府損害保険事務所の代表取締役就任し、新たなスタートを切りました。何事も前向きに取り組み、チャレンジし続ける別府さんの強さはどこからくるのでしょうか?

前職は関東で携帯のアンテナにかかわるエンジニアとして働いていました。元々理系でモノづくりに興味があつて仕事も大変でしたが、

前職のお話と跡を継ぐ事になった経緯を聞かせてください

私を表面上は受け入れてくれましたが、ウェルカムといった感じではなかったと思います。社員さんもハラハラ働いているというか、協力し合う意識は薄かった気がします。私はみんなと話して物事を決めていきたいと考えていたので、面談も実施して話を聞くことを大切にしてきました。残念ながらそのような

当時の会社の様子、戻られてからの変化はありましたか?

今年6月、代表就任となりました。父も70歳を迎え、代表を交代しないかと言われ、自分もそろそろかなと思っていたので引き受けました。父の代の理念は「お客様第一」でしたが、私としては社員がいたから44年続けてこれたという想いもありました。経営理念に掲げた「あしたの笑顔

これからの展望を聞かせてください



(有) 別府損害保険事務所
住所/ 都城市上川東2丁目16-6-1
TEL/ 0986-80-4180
FAX/ 0986-23-7718
事業内容/ 保険代理店

沢山の役を担い、前向きに取り組んでいる別府さん。あまり感情を表に出さないイメージを持っていましたが、内に秘めている熱い情熱と、どんな難題にも平常心で挑むことができる強さを感じました。

取材 (有)ファミリールーガス 森健 太郎
(株)ハラケアシシステム 原 秀直
合同会社花菜 村山 美佳

DO YU 活動ズームアップ

〔 県北支部 〕
絆の会



県北支部では年2回、家族・仲間が集まってガヤガヤやってます。毎回会員のお子さんが楽しみにしてくれています。8月の一番暑い時期に今回はクーラーの効いた部屋でのバーベキュー。参加者からのたくさんの差し入れて、刺身盛り・オードブル・焼肉と食べきれないほどの量。スイカ、みんなで宝探しと盛り上がり子どもたちの夏休みの日記に描いてくれたらいいかな。帰りには、川の流れて足を浸したり有名な延岡のお菓子どころでかき氷を食べて帰ったり。いい夏の集まりになりました。

〔 宮崎南支部 〕
同友会を知る会

8月7日に宮崎南支部「同友会を知る会」を行いました。終了後すぐに食事をしながら話ができるようにホテルメリージュで「暑気払い」も兼ねての開催。知る会のプレゼンターは白川良一氏(南サンエック会長)。同友会との歩みでたどり着いた「若者が誇りを持てる職場」を熱く語ってくれました。18年前の覚悟にただただ驚かされた場でした。



〔 青年部会 〕
経営戦略模擬会議



青年部会第14回経営戦略模擬会議を7月31日に開催。報告者は(株)Entime代表取締役・寺山大夢氏。参加者が役員という立ち位置となり、DX研修を宮崎県内の中小企業にどう広めるか、どのようにしたら今期の売上を達成できるかを議論しました。各グループが数字を交えた実践的な議論を展開しました。

＼新着まだまだ、たくさん活動しています！/
活動内容は同友会
Facebookでも配信中!!



8月理事会報告

日時: 8月27日(水) 17:00~20:00 於: 宮崎市民プラザ&Zoom会議 理事29名中26名出席(出席率89.7%) + 事務局3名

01. 前回理事会(7月30日)以降の活動の経過報告を確認するとともに、8月27日までの3名の入会申し込みと8名の退会申出を承認しました。会員数は455名。

02. 各推進協議会から
(1) 組織強化推進協議会の迎座長より、下記の報告と呼びかけがありました。

①9月29日(月)、西都市で今期2回目の「同友会を知る会拡大バージョンin西部」を開催します。報告者はきりしま支部のRelaluvu代表の津曲智子さんです。ターゲットは美容系であり、個人事業主さんであり、女性起業家であり、妻であり、母であり、様々な方に同友会の良さを知ってもらふ会となります。今回が大盛況に終わり入会を促進することにすればフォーラムの成功につながり、ひむか支部の会勢拡大にもつながります。9月2日(火)は10時から西部地区でチラシ配りを行います。美容系の方などのご紹介をお願いします。

(2) 人が育つ会社づくり推進協議会の杉村座長より、「同友会を強くする役員の成長」という視点でつくり込んでいる秋の役員研修会(9月20日(土))について、あらためて参加目標の確認(70名以上の参加(対象者90名)一と現状の確認(8/27現在32名)があり、目標達成に向けて各組織で呼びかけを行うこと、9月12日(金)が集約日であることを確認しました。また、グループ長は理事が行うこと、杉村理事より依頼があること、当日の11時30分からグループ長会議を行うことも確認しました。

(3) 地域づくり推進協議会の川崎座長より、①7-9月期景況調査では、最低賃金引上げの対応、価格転嫁の状況等を特別調査として加えます。回答率アップに向けて、支部会員の皆様への働きかけをよろしくお願いします。調査期間は9月10日~9月30日。報告会は10月27日(月)17時からZoomで行います。

②新春経営者交流会の開催概要を下記のように確認しました。
日程と会場 1月22日(木)、ニューウェルシティ宮崎
講師 (株)エチー・エス・エー 代表取締役 田中 勉氏(神奈川同友会代表理事)
会費 第1部(講演とグループ討論) 2,000円
第2部(賀詞交歓会) 8,000円

03. 第34回経営フォーラムの準備について小原実行委員長の報告をもとに準備状況と各支部での参加呼びかけ推進を確認しました。また、遠方の支部からは、当日まで参加することが考えられるため当日のグループ長会議は避けてほしい、そのためには早期にグループ長を決定しプレ報告等の段階から共に分科会をつくっていくようにすることが実行委員会に要望されました。

04. 来年の第35回定時総会の日程は、前回理事会での確認(5月12日)から、5月13日(水)に変更となりました。会場は、ニューウェルシティ宮崎です。

05. 前回理事会で確認した総務財務委員の支部推薦のメンバーの補充や入れ替えは、期限を9月末に延長して各支部対応することをあらためて確認。今期第1回総務財務委員会は、10月22日(水)15時30分~17時、事務局会議室とZoom会議での開催です。

06. 宮崎同友会30年史への協賛金募集状況を確認。また、理事会ははじめ各機関へ、30年史4編の締めとして「宮崎同友会 新たな歩みへー運動づくりの展望の決意」と題しての400字程度の原稿を9月20日までという作業部会からの要請について、各機関で対応することを確認しました。

07. 宮崎日日新聞8月26日付、宮崎地方最低賃金審議会からの県内最低賃金を1023円とする答申記事と、中同協4-6月期DOR報告書の経営上の力点の内容をもとに、「最低賃金の引上げと人材確保」と題してグループ討論を行いました。各組織でも意見交換の場をもうけていくことを申し合わせました。

発行/ 宮崎県中小企業家同友会 宮崎市恒久南3丁目3-2 恒吉ビル2F
TEL / 0985-50-3665 FAX / 0985-50-3653 宮崎同友会 IQ
info@miyazaki.doyu.jp miyazaki.doyu.jp

青年部公式LINE



学び合い活動と地域に広げる運動を展開しよう!

中同協「2025組織強化・会員増強全国交流会」が8月6日(水)Zoomにて行われ、宮崎からは、37名が参加しました。

8月19日(火)に行われた組織強化推進協議会では、参加しての感想交流を行いました。出された意見をご紹介します。

増強がうまくいっている県は、成長している会社がたくさんあった。「入会してよ」ではなく、「俺の会社がうまくいっているから参加してみな」と呼びかけをすることで同友会の魅力が一番伝わる。役員が語り部となって実践報告をすることが大切。代表幹事として、会員の会社が良くなることにフォーカスしていきたい。

入会してくれそうな人ではなく、一緒に学びたいと思う人を誘っていきたい。経営者はいろいろな会に所属しているが、会ごとに目的が違う。しっかりと同友会理念の3つの目的「よい会社になろう よい経営者になろう よい経営環境をつくらう」を念頭に置いて活動をしていきたい。

真の人間尊重の社会をつくり、新しい歴史を創造しよう

前号に引き続き、中同協の第57回定時総会(7月3~4日)への参加者のなかから請問 仁さん(株日向屋専務取締役・県北支部)のレポートをご紹介します。

第7分科会(宮城)

「共に育つ〜経営指針の確立はグループ討論から〜」

(株)建築工房 代表取締役 小野 幸助氏
8Lゼミナール 代表 村尾 誠氏

生々しい経営体験を隠さず報告してくださった小野さん。飾らない、リアルな体験が伝わってくるプレゼンは報告者としての姿の学びでもあった。若い社員も多い社内。エネルギーの方向性を合わせるべく徹底的にグループ討論を利用したベクトル理論。興味深かった。

● グループ討論

違いが対立に現れてしまう社内構造。どうやって対立を変化につなげプラスに変えるか。

・部署間、社内間の仕事をスムーズに進めるハード面の整備と仕組みづくりも必要。

・まず、目線を合わせた違いの定義⇒目的が共有されている状態を前提にして、それぞれの立場や視点のばらつきからでる違いをテーマに考える。

・意思決定者はスジを大事にする(偏った判断は禁物、ビジョン・ミッション・共通の価値観に沿っているか)。メンバーに決定ことが落ち切っていない場合は調整するのがリーダーの仕事。

・会社の中でそれぞれが考えているゴール、達成点が違うと対立する。チームとして成立しない。⇒理念やビジョンへの共鳴が必要。

・意見を言ってくれる人の受け止めが大事、総意に生かす・中間管理職を育てる重要性。

・どう変化を起こすか⇒意見を言いえる場づくり、グループ討論の実践。

● 重要な提案

お互い越来越好っていくという意識が大事。

トヨタの例⇒日本を豊かにするんだという言葉がキーワードになって、それぞれが仕事に集中したエピソードが紹介された。経営者の仕事は高い志を掲げること。共通認識を

より深めていく。それを示すのが経営指針書。同友会で高い志に触れていく。

● まとめ

・信頼は自分から、経営者から出さなければ始まらない。自覚しよう。

・継続は力なり 経営をよくするのは長い道のりでもある。

・零は、あなたは本当にこの会社で幸せになれるか? というテーマを社員投げかける。ここに経営者の姿勢が現れている。自分と照らし合わせよう。

・グループ討論のテーマを社長が決めてないか? 社員に丸投げしないで任せて場をつくっていく。

・適切な問いを立てるのが、リーダーの役割!

記念講演

「『労使見解』発表50年 経営者の責任 学んで実践し続けてこそ

〜同友会の本質を知れば成長できるか?〜」

(株)エステム名誉会長、中同協顧問(前会長) 鋤柄 修氏

歯にもの着せぬ鋤柄顧問のお話は実践と実績に裏打ちされた、同友会で学んでいる身に引き込まれるお話しで、金言だった。

・役割が人を成長させる。組織経営を学ぶのが同友会。

・理念は大事だけど、理念で飯は食えないという考え方もある。

・社員の中から社長を選べる会社にする。

全体会の後は、会場に集まった全員で「同友会理念や労使見解の理念をどう広げていくか」をテーマに大グループ討論。各県のリーダー同志の意見が交差する議論は、定時総会ならではの真剣な空気感。視座を上げる価値ある時間だった。会を活性化するには、会員が良くなることに目を向け、腰を据え行動していく必要がある。この意識を心に留め、活動に取り組んでいきます。

第21期 経営指針をつくる会《理念編》終わる!!

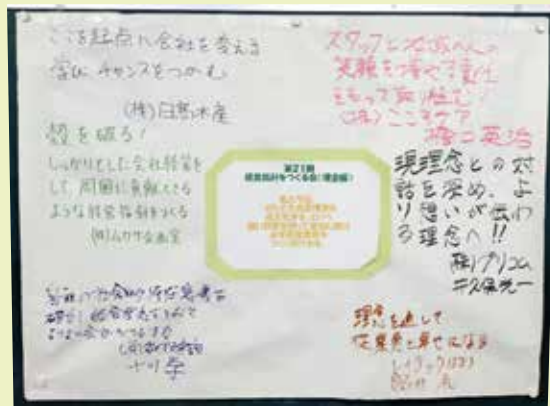
5月にはじまった『第21期経営指針をつくる会《理念編》(以下、「つくる会」)]』が、8月23日に修了しました。今回のつくる会には、6名が受講し全員修了しました。

最後のあいさつでは、「気持ちを込めて社員さんに伝えていたい」「経営理念が社員さんの思いや考えの指針となり、一つのチームとして自分が関わる地域の安心と幸せをつくっていきたい」「この経営理念がカタチだけにならないように、まずは自身が覚悟を持ち、行動で示し、社員さんとともによりよい会社をつくっていきます」と受講生から力強い決意が発表されました。

9月27日(土)からは、『第21期経営指針をつくる会《方針・計画編》』が開講します。先着12名となっておりますので、受講をご検討させての方はお早めにお申し込みください。



5月31日(土)緊張のなか始まった第1回講座。まずは、受講生の経営に対する想いを深掘り。「何のために経営しているのか。自社は何屋なのか」を考えあいました。



第1回講座に決意した想いを振り返りながら受講した講座。「やっぱりそこだよね」と受講生の原点となっていました。



最後は、東郷委員長より修了証授与。経営理念を考え抜いた受講生、伴走してきたサポーターと記念にパシャリ。

サポーターのみなさん

ハッコートラベル(株) 代表取締役 金井 二三代 氏 (県北支部)
(株)コノハナ 代表取締役 塩谷 愛藍 氏 (県北支部)
(株)岩下建設 代表取締役 岩下 政人 氏 (ひむか支部)
(株)巴設備工業(株) 代表取締役 下水 流匠 氏 (宮崎北支部)
(有)東栄空調 代表取締役 東郷 浩二 氏 (宮崎北支部)
(株)合格不動産 代表取締役 橋本 格郎 氏 (宮崎北支部)

(有)もりなが 相談役 守永 泰雄 氏 (宮崎北支部)
(株)アーム 代表取締役 阿萬 英一朗 氏 (宮崎南支部)
ナイフ宮崎 代表取締役 内布 省吾 氏 (宮崎南支部)
(株)カーオレンジ 代表取締役 南平 義春 氏 (宮崎南支部)
社会保険労務士法人ALX 代表 井手 真弓 氏 (きりしま支部)

DO YOU
MIYAZAKI journal

「好き」を源にした挑戦も続けてきました。ハイヒール事業は、かかとパーツを自分で交換できる独自機能の開発が出发点です。ヒールにあう靴がなかったため自ら製造に踏み出し、分業の職人ネットワークを組んで生産ラインを整えました。商品化までに6〜7年がかかったそうです。展示会出展やショーでの入賞、自社ブランド「カフネ」のB to B販売へと歩を進めました。サイズとワイズ・足幅 が細かく在庫負担が重いなど難易度の高い分野ですが、「色を決め

複

数事業を運営していても、主軸はあくまでシステム関連です。創業は2011年の個人事業から、売上の大部分である3D・CAD・積算の汎用ソフトや、在庫・見積・原価のシステム開発・HP制作まで業務を支える品揃えを拡充させ、ウェブ制作などは連携パートナーに協力を委ねています。堅実な事業で中長期計画へと舵を取り建設業向けの積算・基幹システムの高度化に次の仕込みを進めています。2017年に資本金500万

中

「現場に合わせて最小入力で回す」姿勢は、靴つくりや家庭教師にも共通していました。好きの情熱と設計力が核にあり、中核事業で培った知見が他事業を支える形に。地域の企業を軽くなる力へと昇華されています。次は成果を仲間と共有する場を楽しみにしています。取材 ひむか支部(有)日高設備工業 日高 憲一郎

広報誌にチラシを同封しませんか？

宮崎同友会会員限定で広報誌にチラシを同封することができます。チラシは、お送りしたい月の前月末までに事務局にお送りください。自社での取り組み、やっていることを他の仲間にも知ってもらいましょう。チラシの封入は1部10円です。会員の460名に封入する場合は、460名×10円で4,600円になります。ご自身の所在支部のみ、特定の支部だけに封入することも可能です。同封をお考えの方は一度事務局までご連絡ください。



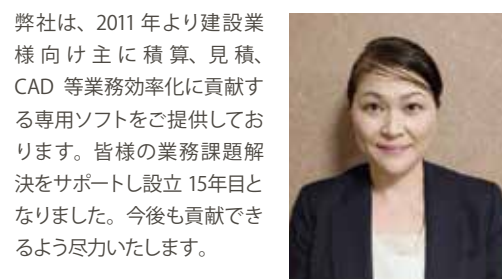
果につながる情報提供のあり方を見出しています。この設計力を下支えするのが製造業での現場経験です。橋口さんは三重県に本社がある電子機器メーカーで九州支店長を兼任し、量産の品質・工程管理、在庫まで幅広く学びました。モノと人の動線を前提にした画面設計や標準作業・見える化の考え方は、多くの経験から体系化されたものです。

設計を詰め、工場と形をつくる過程が楽しいと笑います。もう一つの好きの延長が教育です。事務所が学校近くにあった縁で学習塾を開校し、その後は採算性と差別化の観点から保護者の送迎負担の軽減をサービスとした家庭教師へと転換しました。講師は全員医学生で、橋口さん自身は生徒の性格把握と講師への指導アドバイスを担う管理役です。兄弟世代に近い講師の存在が、生徒のやる気のエンジンになるといいます。昨今の教育では学習指導要領が改訂され「探求する学習」に入り、それに伴い大学入試は共通テストへと変わり、全ての教科において「知識のその先の思考力」が重視されるようになりました。その中での手応えは「生徒の学力向上率100%」です。「能動的な考えと、未知の状況に対応できる思考力」に力を入れた授業を展開しています。

円で法人化し、婦人靴の安全試験で評価、19年に生産ラインと自社ブランド「カフネ」を始動しました。22年から電気機器メーカーで九州支店長を兼務し製造の眼を鍛え、25年に任期満了を迎えています。家庭教師の講師は医学生のネットワークに依頼し、柔軟なシフト体制で学業と両立を支援。収益モデルの磨き込みを全員で弛まなくめざしています。月に1度はパートナーさんと食事を開催し、「仕事の考えや仕事以外の話しをするのも楽しい」と語る橋口氏。同友会への期待は明確です。銀行・行政等との交渉力を磨きたい、成果に直結する関係づくりを学びたい。その姿勢は率直であり、仲間づくりを通じて自社の支援力を高めたという意欲が強いのです。学びを実装して成果に返すその繰り返しで成長していく姿勢が印象的でした。

(株)HPLUS SYSTEM

代表取締役 橋口 若芽さん (50歳)



宮崎県新富町(事務所移転先調整中)
TEL / 0983-33-1371 業種/ ソフト販売

+

「好き」と「現場」が磨く設計力



(株)HPLUS SYSTEM

代表取締役 橋口 若芽さん

〔ひむか支部〕

心事業は、一貫して「建設業の業務を軽くする」ためのソフト販売とシステム開発です。取り扱いソフトは、ダイキン工業の3D・CADをはじめ、バースCADなど、CADの種類も幅広くあり、積算も各種取り扱っています。建設業の公共事業における入札は厳しさを増す中、取り扱いソフトを使用したお客様が入札が簡単にできるシステムを開発販売しています。CADでは時間削減、材料集計もボタン一つで完了し、間違いが無いなどソフトの効率化のメリットは計り知れません。システムの導入段階で、既存ソフトの設定見直しと軽量なカスタムで、図面作成から拾い出し、発注・出来高・原価にいたる情報のつながりを可視化し、各社で異なる工程や役割、伝票・台帳の書式をいったん分解し、既存のCAD／積算や基幹業務(見積・原価・在庫)を「つなぐ」設計から入ります。橋口さんは、まずお客様と一緒に問題点を特定します。汎用パッケージに人の動きを合わせるのではなく、現場や人の動きに合わせた設計を一番に考えています。例えば、最小限の入力で、全体的な業務の動きをシンプルにすることができ、日々の運用が簡素化できるようになります。日々の運用が簡素化できるよう設定や、建設法に準じた帳票に整えるなど、日々の業務に負担をかけずに効果

押川建築

素早く・丁寧に・確実に。信頼される仕事をお約束します。培ってきた経験と技術を活かし、早く丁寧、そして確実な施工を心がけています。ご要望をしっかりと伺い細部までこだわった仕上がり大切に。小さな工事からリフォーム、新築まで安心してお任せ下さい。

宮崎県清武町加納2-39
TEL / 0985-71-3013 業種/ 建築大工

代表 押川 秋一さん (49歳)



専務 押川 彩旗さん (53歳)



訪問記
Vol. 63
ほうもんき

建設業の業務を「軽く」するHPLUS SYSTEMの橋口さんは、CAD・積算ソフト販売と業務システム開発を中核に、各社の現場手順に合わせた「つなぐ」情報設計で定着まで伴走する経営者です。創業は2011年。大量生産の現場で培った工程・品質管理の視点を強みに、見積・原価・在庫まで最小入力で運用する仕組みを整えます。また、「好き」を源に交換式ヒールのハイヒールづくり、医学生講師による家庭教師も展開しています。売上の柱は建設業務ソフト販売で、地域の建設現場の生産性向上に寄与しています。

心事業は、一貫して「建設業の業務を軽くする」ためのソフト販売とシステム開発です。取り扱いソフトは、ダイキン工業の3D・CADをはじめ、バースCADなど、CADの種類も幅広くあり、積算も各種取り扱っています。建設業の公共事業における入札は厳しさを増す中、取り扱いソフトを使用したお客様が入札が簡単にできるシステムを開発販売しています。CADでは時間削減、材料集計もボタン一つで完了し、間違いが無いなどソフトの効率化のメリットは計り知れません。システムの導入段階で、既存ソフトの設定見直しと軽量なカスタムで、図面作成から拾い出し、発注・出来高・原価にいたる情報のつながりを可視化し、各社で異なる工程や役割、伝票・台帳の書式をいったん分解し、既存のCAD／積算や基幹業務(見積・原価・在庫)を「つなぐ」設計から入ります。橋口さんは、まずお客様と一緒に問題点を特定します。汎用パッケージに人の動きを合わせるのではなく、現場や人の動きに合わせた設計を一番に考えています。例えば、最小限の入力で、全体的な業務の動きをシンプルにすることができ、日々の運用が簡素化できるようになります。日々の運用が簡素化できるよう設定や、建設法に準じた帳票に整えるなど、日々の業務に負担をかけずに効果

NEW FACE

今回のご紹介は8月1日～8月31日入会された2名の新会員さんです。(支部別・50音順)

県北支部	60名
ひむか支部	29名
宮崎北支部	130名
宮崎南支部	78名
きりしま支部	158名
合計	455名

※2025年8月31日現在